

ハーセプチン/X P (ハーセプチンとシスプラチンとカペシタビン併用) 療法

この治療では次の3種の治療薬を使用します。

シスプラチン：細胞のDNAや蛋白合成を妨げ効果を現します。

カペシタビン (ゼローダ)：細胞のDNAやRNAの合成を妨げ効果を現す。持続で注入することで効果が強まります。

トラスツズマブ (ハーセプチン)：病気の細胞が増えるために必要な物質を取り込むための手 (HER2：ハーツウ) を抑えることによって効果を現します。

<投与スケジュール> . . . 3週間が1コース 今回 コース目

<薬品名> <投与方法・時間>	<薬の作用>	1コース目		2コース目
		1日目 14日目 22~42日目
パロセトロン、デキサト、輸液 <点滴静注30分>	吐き気予防		休薬	
輸液 <点滴静注120分>	腎障害予防		休薬	
ハーセプチン注 生食250ml <点滴静注 90分>	化学療法剤		休薬	
シスプラチン注 生食500ml <点滴静注 120分>	化学療法剤		休薬	
マンニトール20% 輸液 <点滴静注90分>	利尿剤、腎障害予防		休薬	
輸液 <点滴静注120分>	腎障害予防		休薬	
ゼローダ錠 内服<14日間> 休薬<7日間>	化学療法剤			休薬



<薬剤投与日の注意>

- ★ 点滴部位が痛くなったり、腫れたりした場合や点滴が落ちなくなった場合は、薬液が血管外へ漏れていることがありますので、すぐに申し出てください。
- ★ 薬剤の投与は、血液検査やその他必要な検査を行いながら進めていきます。副作用の発現・合併症の有無によって治療の途中でも、薬剤の減量・変更や中止されることがあります。

<備考>